

第3回本宮地区熊野川を考える会

平成19年3月19日

和歌山県

1

今回の検討内容

2

今回の検討内容

1. 二津野ダムと風屋ダムの放流量の状況
2. 電源開発の行っている取り組み
3. 治水対策の詳細条件

3

本宮地区熊野川を考える会の経過

H18.3.22

第1回本宮地区熊野川を考える会

・治水の現状と課題

H18.7.7

第2回本宮地区熊野川を考える会

・当面の治水目標
・当面の治水対策

H18.9.12

文化庁協議

H19.3.19

第3回本宮地区熊野川を考える会

4

第2回考える会の検討事項(1)

●当面の治水目標

平成2年9月洪水

(二津野ダム実績放流量: 約5,000m³/s)



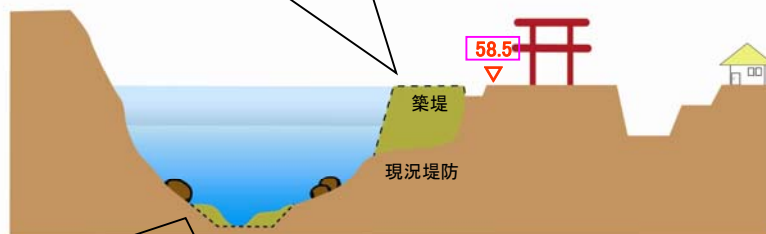
※本宮行政局現地立会いにより洪水痕跡水位を推定(調査日H17.11.7)

5

第2回考える会の検討事項(2)

●当面の治水対策

- ①築堤による熊野川からの洪水の流入を防止
→大斎原付近の景観を損ねない高さ(T. P. +58.5m)で築堤。



- ②熊野川の河床掘削による水位低下

6

1. 二津野ダムと風屋ダムの 放流量の状況

7

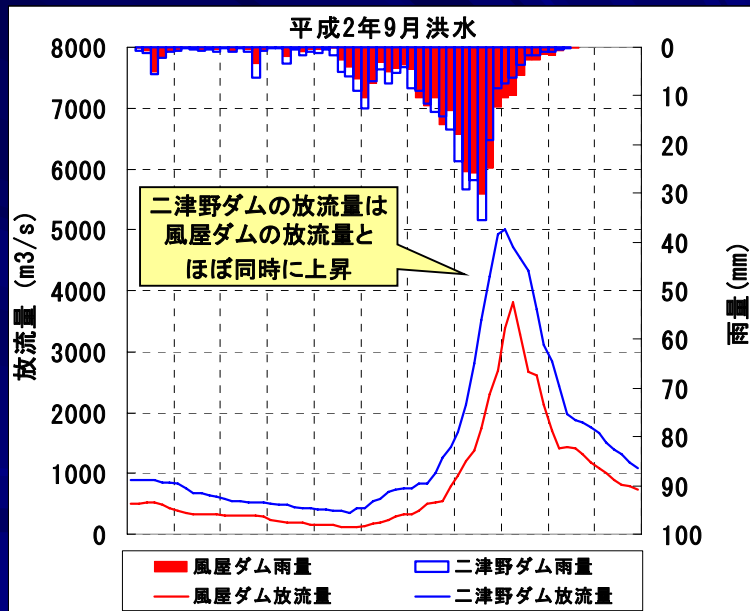
1-1. 二津野ダム・風屋ダムの放流量



出典: 熊野川懇談会パンフレット「熊野川を知る」
出典: 第6回熊野川懇談会会議資料2 熊野川の利水・環境

8

1-2. 二津野ダム・風屋ダムの放流量



出典: 紀南河川国道事務所提供 ダム実績資料より作成

9

2. 電源開発の取り組み

10

2-1. 電源開発の取り組み



出水時のダム運用は、大規模出水が予想される時、ダム水位を予備放流水位よりさらに下の目標水位とするよう自主的に努めています。

＜電源開発㈱の取組み＞（平成8年地域自治体に説明）

- (1)出水期(7月～10月)には、発電運用にてダム水位を目標水位付近に維持することに努めています。
- (2)新宮川水系のダム(池原、風屋ダム他)において台風、豪雨等によりダム放流が予想される場合は、早期の放流を実施することに努めています。
- (3)ダム放流に係わる通知、通報ならびにダム放流状況の連絡につきましては、迅速かつ確実に実施しています。

27

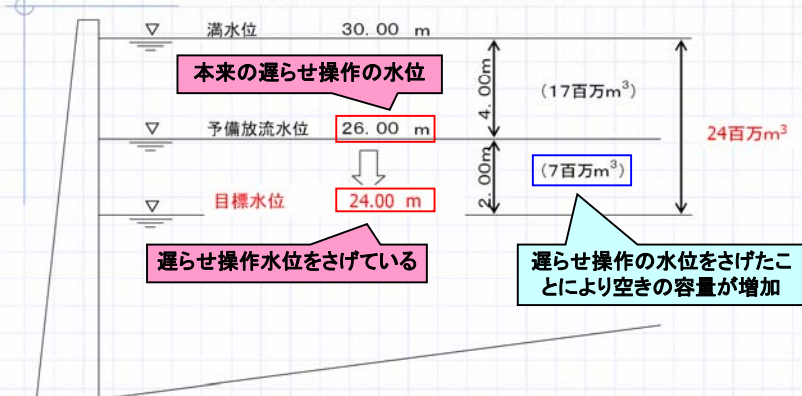
出典：第5回熊野川懇談会会議資料2 質問に対する回答（治水その1）

11

2-2. 電源開発の取り組み



風屋貯水池の水位と容量の関係

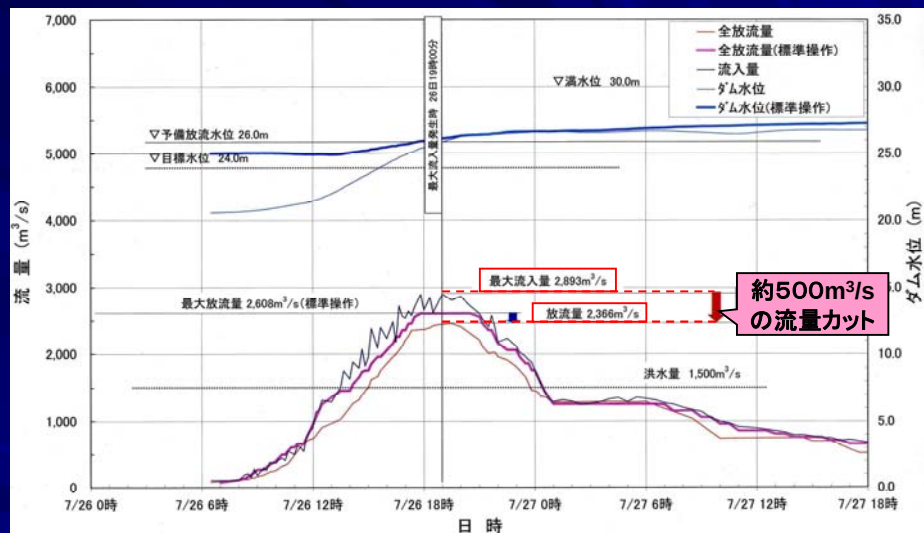


29

出典：第5回熊野川懇談会会議資料2 質問に対する回答（治水その1）

12

2-3. 電源開発の取り組み



出典：第5回熊野川懇談会会議資料2 質問に対する回答（治水その1）

13

3. 治水対策の詳細条件

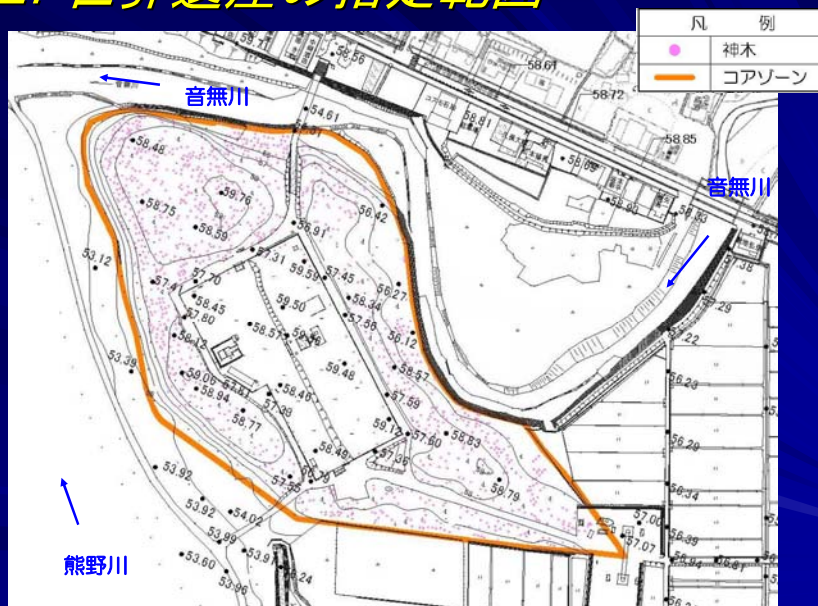
14

3-1. 文化庁協議での意見

- ①大斎原を保全できるようにする
- ②文化遺産の保存範囲がどこまでかを調査する
- ③学術的観点で有識者により複数案を多角的に議論することが必要

15

3-2. 世界遺産の指定範囲



出典：平成8年度河調第5号熊野川河川測量業務 求積図

16

3-3. 大斎原の詳細測量結果



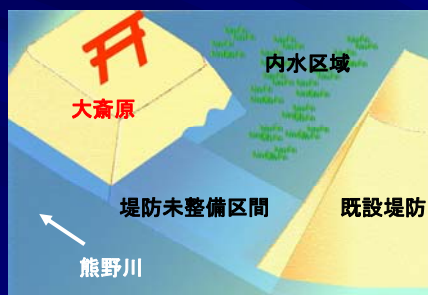
17

3-4(1) 擦り付け堤整備前の 大斎原への影響

大斎原通路高に達するまで



大斎原通路高に達した後



熊野川水位が大斎原通路高に達する前に堤防未整備区間より内水区域に水が流れ込む



熊野川水位が大斎原通路高に達したとき内水位も熊野川水位と同じであるため大斎原から水が流れ込まない

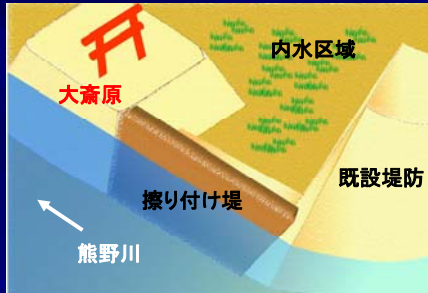
18

3-4 (2) 擦り付け堤整備後の 大斎原への影響

大斎原通路高に達するまで



大斎原通路高に達した後



熊野川水位が擦り付け堤整備高に達するまで、内水区域に水が流れ込まない



熊野川の水位が大斎原に達したとき、大斎原から水が流れ込み、大斎原が浸食される可能性がある